

赤潮情報第37号

（八代海：マーガレフィディニウム sp. 笠沙型 注意報 発令）
〔旧名：コクロディニウム sp. 笠沙型〕

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

本日、熊本県が調査したところ、天草市楠浦でマーガレフィディニウム sp. 笠沙型（旧名：コクロディニウム sp. 笠沙型）が海水1mL 当たり**最大240細胞**、確認されました。

本種の注意報発令基準（海水1mL当たり100細胞以上）を超過しましたので、**八代海に本種の注意報を発令します**（詳細は下図を参照してください）。

本種は有害で、魚介類をへい死させる恐れがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等を行っている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意してください。

また、カレンア ミキモイが海水1mL 当たり最大5細胞確認されました。注意報発令基準（海水1mL当たり100細胞以上）未満ですが、今後の気象、海況によって、増殖するおそれがありますので、警戒が必要です。

なお、シャットネラ属は全地点で確認されませんでした。

※数字は水深0m、5m、10m 層の海水1mL 当たりのマーガレフィディニウム sp. 笠沙型の細胞数です。
()の数字はカレンア ミキモイの細胞数です。

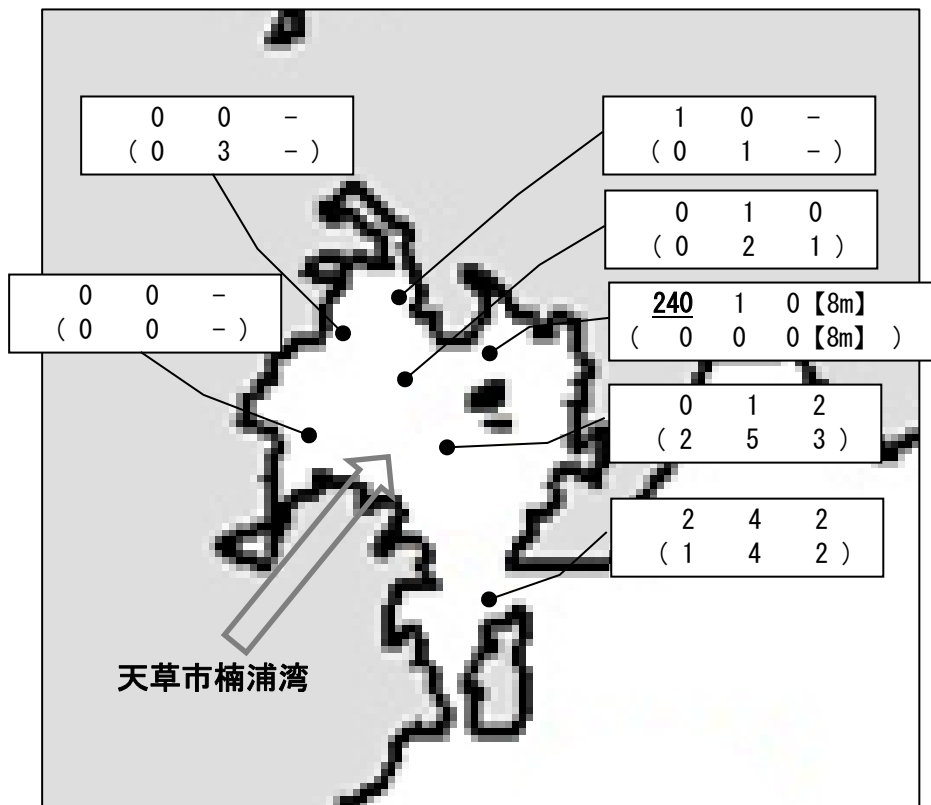
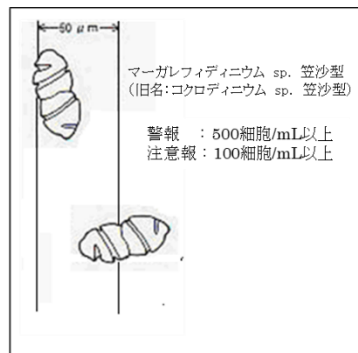


図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/264971.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/distributionInit.php?qkaiku_id=1

赤潮情報
ホームページ

赤潮ネット

